

調査結果の要約

1 新受験時代の到来か

今回の調査では、10月の段階で東京都23区内の小学6年生の35%が中学受験をしようと思っている。

2 中学受験に塾は不可欠

中学受験希望者の84.5%が進学塾へ通い、補習塾を加えると97.4%が現在通塾している。

3 母親の影響が大きい中学受験

中学受験ではあらゆる面で母親の影響力が大きい。最初に中学受験を言い出すのは母親であるし、母親のいくつかの属性が中学受験の大きな規定要因となっている。

4 受験する子としない子で大きく異なる学習スタイルと学習環境

受験する子はしない子よりも長時間勉強し、高い割合で塾に通い、また家庭教師の依存率も高い。また、学校外の教育費においても、受験する子1人当りの学校外教育費は、月平均4万円を越える家庭が68.0%もある。

5 受験したい中学は「いじめや非行のない中学」

子供が受験したい中学は、男女ともに1位「いじめや非行のない中学」2位「評判がよい中学」である。3位以下については性差がみられる。親の希望では、受験（偏差値）ランクより「教育方針や校風がよい中学」がトップとなっている。

6 意外に明るい中学受験生

中学受験の希望者は、クラスでも成績上位者で、かつリーダー的な積極タイプが多い。受験につきまとう「暗さ」は感じられなかった。

7 「新受験時代」の「新受験ママ」

中学受験をさせる母親は、そうでない母親に比べ、専業主婦が多く、教育観やその生活スタイルにおいて明らかな違いが見られる。つまり、ファッションなどに敏感で、自分で工夫して料理を作るのが好きな「新受験ママ」が登場してきたといえよう。